

加太小学校だより

<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kabuto/>

令和6年
6月18日
No.6



6月21日（金）フリー参観・なわとび集会を行います

校庭のあじさいが、鮮やかに花開く季節となりました。子どもたちは、暑さに負けず元気いっぱい学校生活を送っています。これからは、熱中症に十分な注意を払いながら学校教育活動を行っていきます。

6月21日（金）には、フリー参観を行います。当日は、授業中の様子だけでなく、休み時間の過ごし方や係や委員会の仕事をしている様子、給食や掃除の様子なども観ていただけます。また、5限目には、「なわとび集会」が行われます。ここでは、みんなで大縄の「ハの字跳び」にチャレンジする姿や異学年児童との関わり方などを観ていただくことができます。「ハの字跳び」は、大縄に入るタイミングをつかむこと、1回跳んで素早く斜めに抜けていくことなど、コツをつかむまでは難しさを感じるものですが、何度も練習をしたり友だち同士励まし合ったりしながら本番に向けて頑張っている子どもたちです。きっといろいろな場面でお家とは違ったお子さんの素敵なお姿や頑張りを発見していただけたと思いますので、気づかれたことを認める言葉としてお子さんにお話していただければ幸いです。

尚、この日は、地域の方々にも学校にお越しいただけるよう、ご案内しています。子どもたちが、多くの方に見守られているということを実感するとともに、いつも温かく見守っていただいている地域の方々への感謝を、子どもたちの姿からお伝えできればと思っています。

読書に親しもう



月曜日の朝の学習の時間、子どもたちは、お気に入りの本を手で静かに読書をしています。絵本や物語を読み進めていくと、自然と主人公を自分に置き換えて現実の世界から本の世界に入り込むことができます。この「主人公になり替わる」「主人公を置き換える」ことは、子どもが他者を認識したり自己を認識したりする上でとても大切なことだと言われています。また、子どもたちにとって読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにします。新しい言葉や表現は、自然に増えるものではありません。本の持つ豊かな文章表現に多く出会うことは、子どもたちの言語能力を伸ばすために最適なものです。

学校では、地域の方に図書ボランティア・読み聞かせボランティアさんを募り、月曜日の朝の学習の時間に各学級順番に読み聞かせをしていただいています。これからいろいろな本に接し、知らない世界に触れたり、心を躍動させたりしながら本に親しみ、本の世界の楽しさを味わってほしいと思います。



6月の学校風景



6月も他校との交流や様々なゲストティーチャーの方、アウトリーチ活動など、多くの新たな出会いや経験を大切にしながら教育活動を進めています。

～ソプラノ＆ピアノコンサート～

亀山市文化会館のアウトリーチ活動で鈴々楽団の皆さんによるコンサートが音楽室で行われました。加太保育園の年長児さんも全校児童と一緒に参加しました。声量のある歌声を聴かせていただいたり、ぜんまい人形を動かす演出や指揮者に挑戦したりして、楽しい時間をみんなで過ごしました。



～他校とオンライン交流学習～

亀山市には、複式学級がある学校が加太小を含めて4校あります。そこで、同学年同士の関わりを深めようとその4校をつないでオンライン交流学習を行っています。1回目は、3・4年生が三重県立博物館の学芸員の方による「川の生物 ネコギギ」の話を聞きました。子どもたちは、たくさんメモをとりながら、話を聞いたり、質問したりしていました。



今後、加太川の学習にも活かしていきます。



～クラブ活動 科学工作～

4年生と6年生がゲストティーチャーの方に教えてもらいながら、身の回りにある材料を使って「くるくるヘビ使い」「リングロケット」を作りました。子どもたちは、声の振動を使ってヘビを回したり、ストローをとばしたりするのがとても楽しい様子でした。



～民生委員 児童委員さんの授業～

民生委員、児童委員の方、社会福祉協議会の方にご来校いただき、委員さんの仕事内容や願いについて教えてもらいました。

子どもたちは、「委員さんがみえることで安心して暮らせる」と感じていました。委員さんからは、「優しい心をもつことや周りの人に気を配ることを忘れないでほしい。」と、お言葉をいただきました。



いろいろな人に出会い、様々な考えや思いにふれる中で、自分自身を見つめながら更に成長していったほしいと思います。

